

# 適性検査 I

注 意

- 1 問題は二ページにわたって印刷しております。
- 2 検査時間は四十五分で、終わりは午前九時二十五分です。
- 3 声を出して読んではいけません。
- 4 問題用紙と解答用紙を提出しなさい。
- 5 受験番号と氏名を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。

受験番号	受験者氏名

次の文章A・文章Bを読んで、あとの問題に答えなさい。

文章B

問題

文章A いまや、知識と情報を得るだけでいいならそれはインターネットの世界に膨大にあり、簡単にアクセスすることができます。これらの材料を前にして、そこから何を使い、どう考え、そして何を生み出すか。その「技」をこそ、身につける必要がある。

(齋藤孝「考え方の教室」による)

文章B

われわれはとても弱い存在である。社会の動き、もつと言えばマスコミやメディアの言説に動かされやすい。特に社会の情勢に関しては、よほど自分で調べない限り、メディアから流される情報に<sup>\*</sup>依拠するよりほかに判断の手段を持たないことが多い。

(永田和宏「知の体力」による)

〈言葉の説明〉

依拠・・・よりどころとすること。

問題

右の文章A・文章Bは、ともに「考えること」について述べられた文章です。

この二つの文章は、同じようなことを述べていますが、その中には、ちがいもあります。あなたはこの二つの文章の共通する点と、異なる点を、どのように読み取りましたか。解答らん①には、考えることについて共通する

点を、二十字以上、四十字以内で分かりやすく書きましょう。解答らん②には、それぞれの筆者が伝えたいことにについて異なる点を、「Aは……」、段落をかえて「Bは……」という構成で、全体で百四十字以上、百六十字以内で分かりやすく書きましょう。

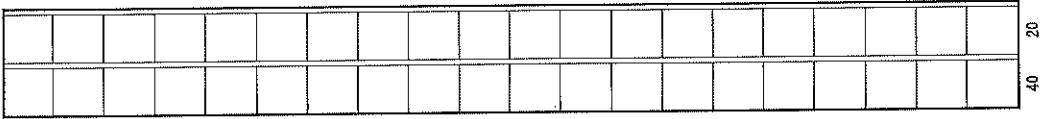
また、この二つの文章を読んで、あなたはどのようなことを考えましたか。解答らん③に、あなたの考えを、いくつかの段落に分けて、四百字以上、五百字以内で分かりやすく書きましょう。

#### (書き方のきまり)

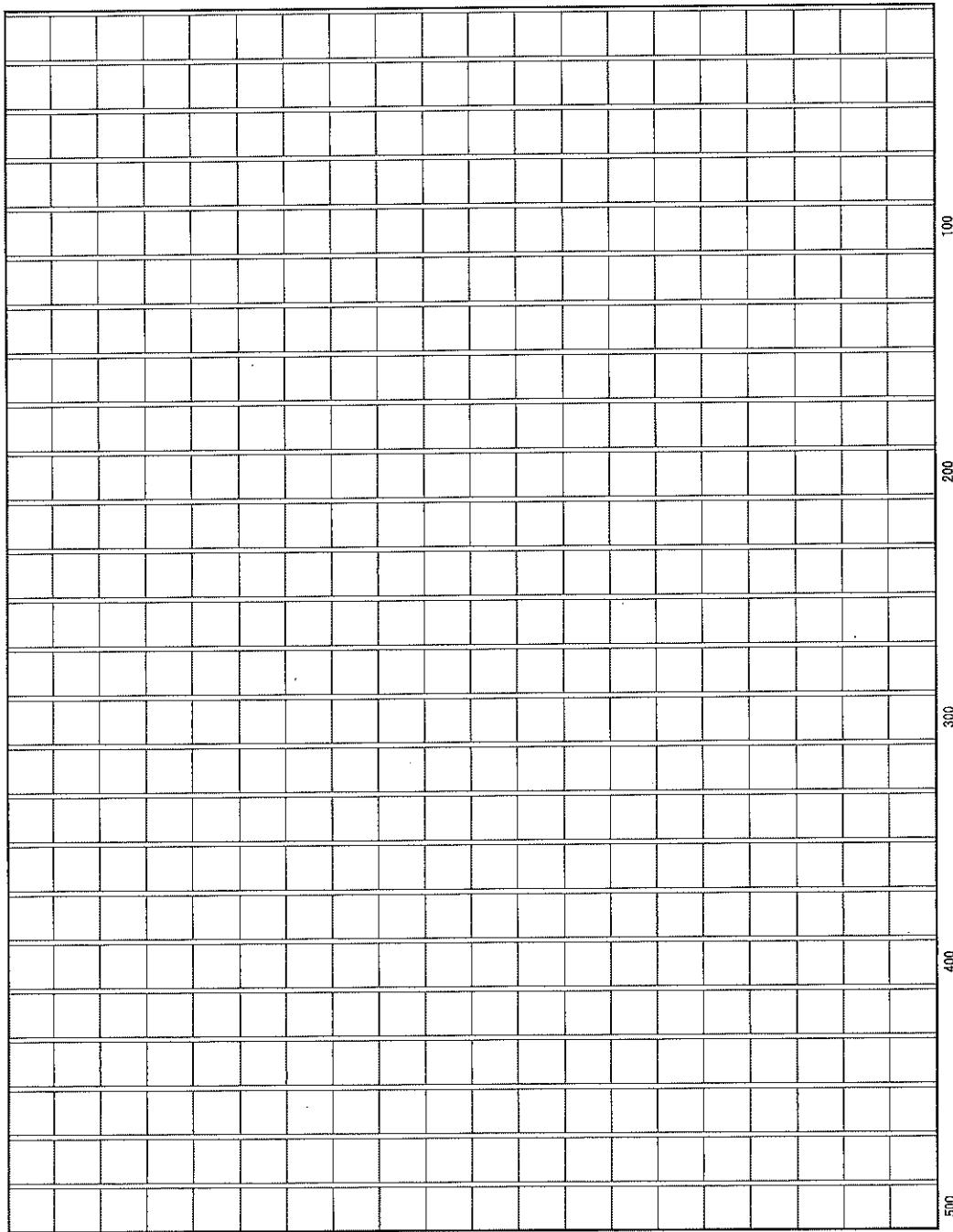
- 題名、名前は書かずに一行めから書き始めましょう。
- 書き出しや、段落をかえるときは、一まず空けて書きましょう。ただし、解答らん①については、一まずめから書き始めましょう。
- 行をかえるのは段落をかえるときだけとします。会話などを入れる場合は、行をかえてはいけません。
- 読点↓、や 句点↓。かぎ↓「などはそれぞれ一まずに書きましょう。ただし、句点とかぎ↓」。は、同じますに書きましょう。
- 読点や句点が行の一一番上にきてしまうときは、前の行の一一番最後の字といっしょに同じますに書きましょう。
- 書き出しや、段落をかえて空いたしますも字数として数えます。
- 最後の段落の残りのますは、字数として数えません。
- 文章を直すときは、消しゴムでていねいに消してから書き直しましょう。

# 適性検査 I

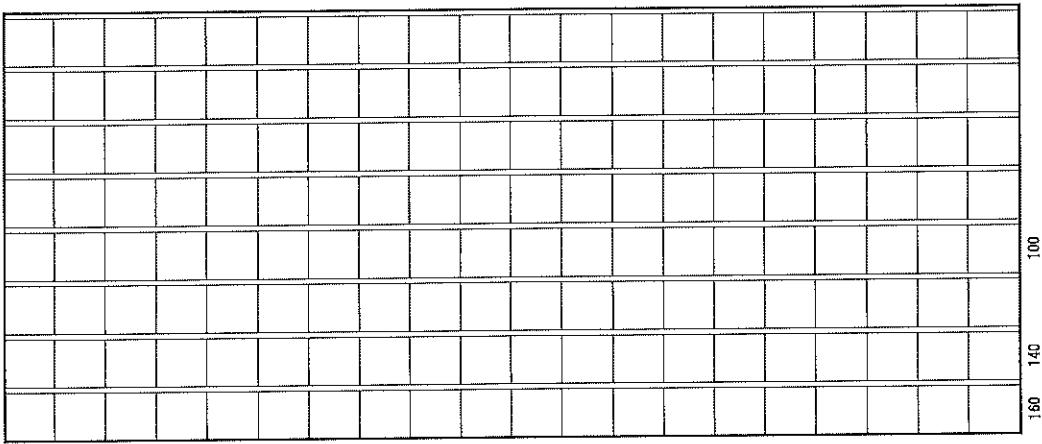
解答らん①



解答らん③



解答らん②



$$\textcircled{①} \quad + \quad \textcircled{②} \quad + \quad \textcircled{④} \quad = \quad *$$

受験番号	
受験者氏名	
採点者印	
総得点	/100

\*右記の太枠の中は必ず記入すること。